

2020年12月21日 第358号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「19日行動」に800人

コロナ対策の無謀、無策を許さない!

市民と野党の共闘で菅政権を退陣に追い込もう!

「いのちを守れ! 学術会議の任命拒否撤回! 安倍前首相国会喚問! 改憲手続法強行許すな! 改憲反対!」—今年最後の総がかり行動実行委員会の「19日行動」が12月19日午後、国会議員会館前で行われ、800人が参加しました。安倍首相から菅首相に代わって3カ月。菅首相は、安倍首相以上に国民犠牲の政治を推進しようとしていることが明らかになりました。来年は必ず総選挙があります。自公政権から市民と野党の共闘の力で野党連合政権へと転換させていく決意を固めよう行動となりました。日本共産党の山下芳生参議院議員、立憲民主党の石川大我参議院議員、社会民主党の福島みずほ参議院議員があいさつしました。

総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんが主催者あいさつ。「菅首相が就任して3カ月が経ったが、無謀・無

策な政治であることが明らかになった。コロナ対策でも有効な手立てが打てないのに、Go Toは続ける。対策の知恵がないなら退陣すべきだ」と強調しました。「学術会議問題では説明責任を果たしておらず、任命拒否を許してはいけない。敵基地攻撃能力の保有では、平和憲法のもと、スタンド・



オフ・ミサイルの配備など危険な政策を進めており、反対していこう。来年の通常国会では国民投票法案の採決を狙っている。課題が山積しているが、市民と野党の共闘を確立し総選挙で勝利するため、がんばりぬこう」と呼びかけました。

4人の市民がアピール。看護師の宮子あずささんは「コロナ禍以前から医療崩壊寸前という状況があった。コロナに感染した、病気にかかったという個人を責めなくなるが、個人の責任より国

の責任が大きい。国に向かって声をあげ続けなければならない。一人ひとり生身の人間であり、病気にもかかる。安心して病気にかかれる、老いていける、弱くなっていける、そういう体制を整備することこそが国の責務ではないか。責め合うことで分断がされるが、そこを乗り越えなければいけない。政治を変えるためがんばりましょう」と呼びかけました。

『桜を見る会』を追及する法律家の会世話人の泉澤章弁護士は「首相の犯罪を黙って見ていいのかと会をつくった。5月に662通の告発状を提出した。桜を見る会前夜祭でかかった費用と参加費の差額はすごい金額になるが、政治資金収支報告書には、分かっているの記載であり悪質だ。国民の運動で真相を明らかにしていこう」と訴えました。

横須賀の市民運動(ヨコスカ平和船団)の新倉裕史さんは、自衛艦の中東派遣の状況や過去の自衛隊員の海外派遣と自衛隊員の自殺者数の増加が重なっていることを指摘。「『戦争するために自衛隊に入ったわけではない』との声が寄せられている。自衛隊の官舎に配布したアンケートの結果では、『専守防衛に徹するべき』『憲法9条が自衛官を守っている』との回答の割合が多かった。9条が、いのちを守っているという事実に気づいてほしい」と訴えました。

日本山妙法寺の武田隆雄上人は「辺野古の埋め立てに沖縄戦の戦没者の遺骨が含まれる土砂を使うことに反対する宗教者の共同声明を出した。そのような土砂を使うことは死者への冒瀆であり、2度殺すことになる。声明に賛同を」と訴えました。

行動提起を、戦争をさせない1000人委員会の勝島一博さんが行い、1月14日の署名宣伝行動、1月18日の国会開会日行動、1月19日の19日行動など総がかり行動の取り組みを提起し、参加を呼びかけました。

***当面の行動**

12月22日(火) 総がかり行動 全国交流集会 17時30分～ WEB会議 YouTubeでも同時配信
<https://www.youtube.com/channel/UCGEJUpHfCJWtz92B7084opQ>

1月8日(金) 憲法共同センター「9の日」宣伝 12時15分～ 新宿駅西口

1月14日(木) 総がかり行動 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口

1月18日(月) 総がかり行動 国会開会日行動 12時～ 国会議員会館前

1月19日(火) 総がかり行動 19日行動 18時30分～ 国会議員会館前

1月22日(金) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町・イトシア前